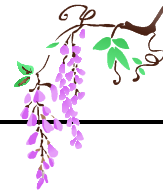


進路だより

2014.5.29



いよいよ県総体!!

多くの運動部生にとっては、最大の目標である「県総体」の開会式が明日行われ、土曜日からは各会場で熱戦が繰り広げられます。3年生にとっては、最後の試合です。ベストを尽くして完全燃焼してほしいと思っています。

今年卒業した26期生のうち、運動部に所属していて国公立大学に合格した生徒の割合は、53.9%、文化部の生徒の国公立大学合格率は51.6%です。部活に入っていなかった生徒の国公立大学合格率が47.1%だったことを考えると、部活に所属することは、受験に当たって決して不利なことではなく、むしろプラスに働いていることがよくわかる結果となりました。

(参考までに、運動部で最も国公立合格率が高かったのは、陸上部の75%、続いてサッカー部70.8%です。文化部では、将棋部100%、書道部87.5%という結果となりました。)

さて、今回の「進路だより」では、部活と勉強との両立を目指して頑張ってきた先輩の合格体験記を紹介します。「部活と勉強の両立」は、そう簡単にできるものではありません。制約された時間の中で、どのように工夫をして学習に取り組んだか、部活で得たことを受験でどう活かしたかなどといった体験談は、部活生にとっては大いに参考となるものと思います。「豊府は贅沢な学校だ」とよく言われます。3年間の高校生活の中で、勉強や部活、学校行事など目の前にある全てのことに全力で取り組み、進路目標を達成していった先輩たちの残してくれた、よき伝統なのではないでしょうか。

インターハイの悔しさを東大へ

東京大学文科三類合格 文系男子

私の高3の1年間は失敗ばかりでした。もっとも、それらの失敗のおかげで私は合格することができたのだと思っています。

8月4日、私は部活の最後の試合に臨みました。しかし結果はあまりにも不本意なもので、しばらく茫然としていました。この時私は積み重ねてきたことを本番で発揮できない悔しさを知りました。

こうして私は受験勉強に突入しました。しかし元々コツコツと努力することを苦手としていた私はしばしばだらけてしまい、先生方や両親から戒めの激励を受けることも多々ありました。そんな時に私を支えてくれたのは、仲間との存在です。同じ志望校を目指す二人の仲間に恵まれた私は、彼女たちに刺激を受けながら、何とか勉強を続けていきました。また担任の先生からも「あなたなら大丈夫」と励ましを受けることで不安を解消することができました。

そしてセンター試験を迎えました。しかし数学ⅠAの手応えが良くなかった私は動揺してしまい、次の数学ⅡBでは頭が真っ白になってしまいました。ところがフタを開けてみると文系不利と言われた中で過去最高点を取ることができました。

センター後の一ヶ月はとにかく合格したいとの思いからそれまでになく勉強しました。学校では先生方が万全のサポート体制を敷いて下さったので、私は添削指導を通じて自分の学力が向上していくのを実感できました。しかし最後の試練が待ち受けていました。私は2次試験の三日前に体調を崩してしまい、寝込んでいました。この時、私の頭の中には部活の記憶が蘇りました。

「もうあんな悔しい思いはしたくない。」

その思いに突き動かされた私は、気力で試験を乗り切りました。最初の国語では15点分のミスをしたことに気づきましたが、センターの経験があった私はきっぱりと切り替えることができました。試験後は不安な日々が続きましたが、無事合格することができました。

後輩の皆さんに伝えたいことは大きく二つあります。一つは、今これを読んでいるみなさんの中には勉強のために部活を辞めようかと考えている人もいます。しかし3年間部活をやり切れば必ず得るものがあるはずですよ。もう一つは先生や仲間、両親といった自分を支えてくれる人への感謝を忘れないでほしいということです。「受験は団体戦」と言いますが、まさにその通りです。後輩の皆さんが充実した高校生活を送り、やがてそれぞれの夢をつかみ取ることを願っています。

支えてくれる人を大切に

熊本大学医学部医学科合格 理系女子

私は部活動を引退するまで部活を夢中でやっていました。部活一筋だったので、その頃の私にとって、課題はやらされているものという感覚でした。ただ数学だけは得意科目だったので早くから先生に添削指導を行っていただき、武器になるようにしていました。

本格的に受験勉強をスタートさせたのは、部活動を引退した7月末です。他の部に比べて1~2ヶ月引退する時期が遅かったので、その頃の成績が一番悪かったです。出遅れてしまった、という焦りが自分の中にありました。勉強を本格的に始めてからも、なかなか成績は思うようには上がりませんでした。勉強に集中して取り組むということは、思っていたよりも大変でエネルギーの要ることでした。そんな中で頑張れたのは、支えてくれた家族や先生方、そして友人、部活の仲間のおかげだと思います。勉強に励む友人を見て、私も勉強しようと思えました。受験勉強のつらさを分かち合える友人がいることで気持ちが楽になりました。ともに高め合える仲間がいて、本当によかったと思います。明るく楽しいクラスだったため、独りよがりになることもありませんでした。また放課後勉強していると、吹奏楽部で練習中の後輩の音が聞こえてくることにも励まされました。成長している後輩の姿を見て、私も負けられないと思いました。こうして迎えたセンター試験の日。多くの人が応援に来てくれて、心強く、うれしかったです。パワーをたくさんもらえました。試験中は、想像していたよりも落ち着いた気持ちで、適度な緊張感をもって問題を解くことができました。そしてセンター試験では自己最高点をとることができ、推薦入試で合格することができました。

今までを振り返って、合格できたのは周囲の人のおかげだと思っています。人間的に成長させてくれ、今の私をつくってくれた部活動、そして支えてくれたみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

受験勉強は、つらいことがいっぱいあると思います。そんな中で、ともに切磋琢磨できる友人がいること、応援してくれる人がいるというのは、自分にとって大きな力になります。後輩の皆さん、支えてくれる人を大切にして、合格を勝ち取って下さい。

大学入試の知識を深める (4) 入学までにかかる費用①

今、3年生と面談していると、「国公立大学しか行けない」という人が何割かいます。しかし、そうした人たちの中にも「勉強に身が入らない」という人たちがかなりいます。進学は親や、場合によっては親族の援助がなければ実現できません。家の経済状態を正確に把握し、保護者と一緒にどういう大学に進学するのかを考えることは、高校生としても大変重要です。保護者と率直な話をどこかで（なるべく早い時期に）して欲しいと思います。

今回は「進学するまで（受験+合格して大学で生活を始めるまで）の費用」①として、大学に合格した場合、初年度どれくらい大学に納入するのかを見てみます。

本校に来た人たちはほとんどが大学進学を考えて本校を選んだと思います。では、果たして初年度、どれくらいの金額を大学に支払うのでしょうか。

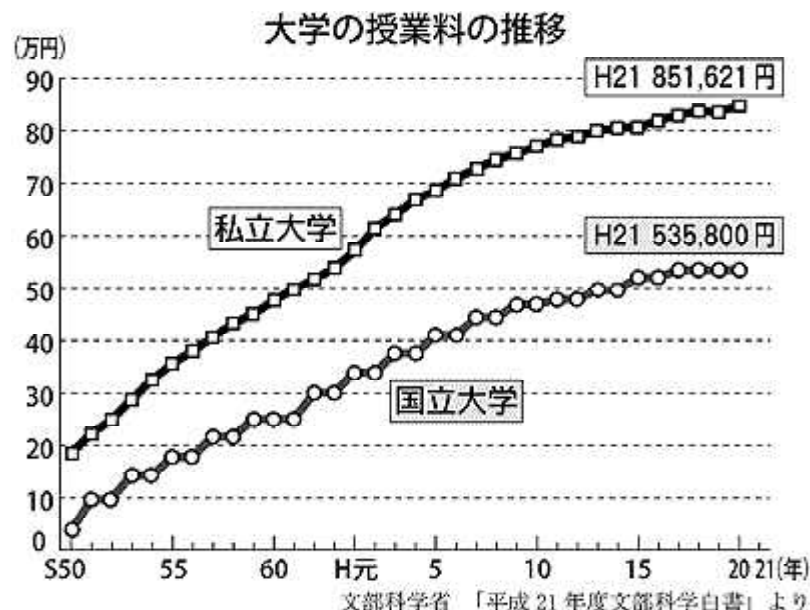
●大学へ支払う初年度納付金はどれくらい？

合格したら大学に対して初年度納付金を支払わなければなりません。右が国立大学と私立大学（平均）の授業料の推移です。昭和50年では国立大学で年間数万円、私立大学でも20万円弱でした。しかしその後は右肩上がりで推移し、今では誰でも簡単に行ける大学ではなくなってしまったような気がします。

初年度納付金というと、一般には入学金と授業料の合計を指しますが、私立大学ではこれ以外に「施設設備費」や「教育研究諸費」などが加算されます。

では早速、H23年度の初年度納付金について、みてみましょう。右ページ上が国公立大学、下が私立大学の平均値です。

国公立大学は学部によらず、ほぼ一定の金額になっています。しかし、私立大学は学部によって、金額に大きな開きが生じています。一般に文系学部では110万円から120万円と比較的低い金額となっていますが、実験実習が伴う理系学部では医歯薬系で450万円から500万円と高額になっていますし、理工系でも140万円ほどと、国公立大学の1.8倍近くになっています。それだけ医歯薬系や理工系、農学系に進学する場合は、国公立大学の方が経済的に有利だと言えます。



大学生活は4年から6年、大学院に進学した場合はさらに年月がかかります。こうした点を考えると、私立大学はかなりの割高になっていることがわかります。

実際の進学に際しては、上記の他に「受験にかかる費用」や、自宅を離れて下宿やアパートなどで生活する人の場合はさらに「下宿やアパート関係の費用」、「ベッドやパソコン・電気製品などの日常生活を行うための準備」、「教科書代（大学の教科書は非常に高い）」などが加わります。これらの費用に関しては、次回お伝えしますが、いずれにしても「大学へ進学する」ということは大変なことなのです。それだけに自分の目標大学・学部・学科をしっかりと考えて選び、その大学へ合格できるための学力を日々の学習活動の中で培い、悔いのない大学選び・進学をして欲しいと思うのです。

(単位: 円)

	授業料	入学料	合計
国立大学	535,800(標準)	282,000(標準)	817,800
公立大学	535,959	地域内 232,357 地域外 399,058	—

(文部科学省「平成23年度学生納付金調査結果」※公立大学は79大学の平均値)

(層間部 単位: 円)

関係学部別	区分	授業料	入学料	施設設備費	合計
文科系	文・教育	762,558	257,189	172,067	1,191,814
	神・仏教	718,837	231,299	151,028	1,101,165
	社会福祉	741,659	232,663	201,798	1,176,120
	法・商・経	732,315	252,126	147,536	1,131,976
	平均	743,699	253,167	158,540	1,155,405
理科系	理・工	988,499	252,910	169,086	1,410,495
	薬	1,435,877	353,830	290,567	2,080,273
	農・獣医	879,120	259,493	199,353	1,337,965
平均	1,041,643	268,709	191,480	1,501,833	
医歯系	医	2,640,293	1,305,746	1,071,169	5,017,209
	歯	3,277,342	596,514	607,843	4,481,699
	平均	2,896,058	1,020,487	884,816	4,801,822
その他	家政	778,360	270,971	197,797	1,247,127
	芸術	1,113,138	268,236	301,541	1,683,387
	体育	778,261	271,187	225,383	1,274,831
	保健	980,900	283,623	241,952	1,506,476
	平均	923,114	275,016	238,835	1,436,965
全平均	857,763	269,481	187,007	1,314,251	

(文部科学省「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額」)